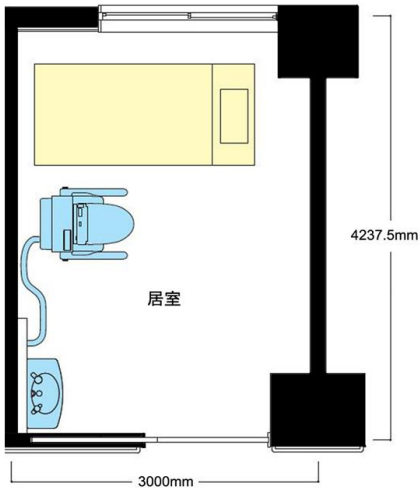


外観



鉄筋コンクリート造4階建ての建物。1ユニット10名×10ユニットで収容人員100名。1Fには、デイサービス、地域交流センター、事業所内託児所が設けられている。

居室図面



事前配管が行われ、ベッドサイド水洗トイレが使用できる居室。

共同生活室



10人のグループで1ユニット。各ユニットごとに設けられる共同生活室は、それぞれのユニットで雰囲気を変え、開放感のある空間となっている。

居室



居室に設けられた手すり付きの「ベッドサイド水洗トイレ」。高齢者にとって大切な排泄行為を、ベッド際でサポートすることができる。また、居室の天井には、最新の見守りシステムを導入している。

共用トイレ



移乗や座位の安定のために、前方ボード(スイングタイプ)やトイレ用手すり(はね上げタイプ)を設置。高齢者は、トイレを「便所」という言葉で認識しているという考え方にに基づき、わかりやすいサインとしている。

1F 事業所内託児所 トイレ



子育て中のスタッフが安心して働けるよう、事業所内託児所「ひよっこ保育所」を開設。託児所のトイレでは、ぞうの形の手すりを使って、楽しくトイレトレーニングができる。

1F だれでもトイレ



1Fの「だれでもトイレ」には、オストメイト対応トイレバックのほか、ご家族や地域交流センターを訪れる子育て世代にも対応できるように、ベビーシートやフィッティングボードなどを設置している。

1F 事業所内託児所 水まわり



保育所内にある「幼児用マルチシンク」のほか、おもらしの際の処置のために、幼児用シャワーパンを設けている。

脱衣室



脱衣室には、車いす対応洗面器居室向けとダストシュートを設置。ダストシュートを使用することで、ゴミ出しにかかる時間・負担を削減している。

汚物処理室



スタッフの動線を効率化することを考慮し、脱衣室・洗濯室・汚物処理室を一体化している。

建築概要

名 称	特別養護老人ホームひまわり・安城
所 在 地	愛知県安城市福釜町下山81-1
施 主	社会福祉法人 愛生館
設 計	CMC建築研究所一級建築士事務所
施 工	小原建設株式会社
竣 工 年 月	2017年9月

水まわりの特長

＜建物の特徴＞
「特別養護老人ホームひまわり・安城」は、愛知県安城市に開設された特別養護老人ホームである。医療・介護・福祉事業などを展開する愛生館グループが運営。居宅に近い環境の下、少人数単位でケアすることで、一人ひとりの個性を尊重したきめ細かなケアを提供している。現在、介護の現場においては、人材の確保が大きな課題となっているが、当ホームでは、ベッドサイド水洗トイレや見守りシステム、ダストシュートなどの最新設備の導入により、介護スタッフの負担を軽減。スタッフがより長く仕事を続けられる環境づくりがされている。また、作業負担の軽減により入居者に向きあう時間も増加し、入居者の満足度向上につながるという好循環が生まれている。

＜トイレの特長＞
できる限り、座った姿勢での排泄が大切との考えから、5年ほど前に開設した碧南市の施設では、居室内のトイレを障子を開けて使うという、ベッドサイドに近いスタイルを採用。それが進化した形のベッドサイド水洗トイレを国際福祉機器展で知り、導入を決定した。現在、居室60室にベッドサイド水洗トイレの事前配管を行い、購入した24台はすべて使用している。また、各ユニットの共用トイレには、移乗や座位の安定のために、前方ボード(スイングタイプ)や背もたれ付きのトイレ用手すりなどが備えられている。